

2025 第4回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【英語】

今回は学年の最後のテストであり、次の中2の橋渡しとなる中1の復習内容を含めた問題構成になっています。

① 長文読解問題（物語文）

2001年当時、あまり売れていなかったスーツアクター（着ぐるみ俳優）とファンの少年だった男性との15年来の触れ合いを描いた物語です。長文の量が多く難しい語（句）も使われていますが、物語の内容は理解しやすいものになっています。これまで学習してきた知識や語の注釈を活用して、じっくりと読み取ることが必要です。

② 適語補充問題

現在進行形、過去形に加えて、助動詞canの用法や命令文の知識を確かめています。3のbe kind to～「～に親切にする」のbe動詞は、主語が複数形の過去形の文なので、wereになります。また、前置詞toの後の代名詞は必ず目的格になることも押さえておきたい事項です。4は「読みました」と過去形なので、空欄⑦にはread [red] が入ります。主語が三人称単数の場合、現在形はreadsとなるはずなので、時制を間違えないようにしましょう。5の「キャンプに行く」はgo campingですが、過去形なので、動詞はwentになります。また、「北海道でキャンプをする」ということなので、前置詞は場所を表すinを用います。

③ 連立完成問題

まず、問題文が「各組（2つ）の英文が同じ内容になるように」とあるので、2つの英文が全く同じ文になることはありません。2は、上の英文の「あなたの故郷はどこ【何】ですか。」を下の英文では「あなたはどこの出身ですか。」と読み替えて、空欄に入る語を判断します。4は、上の英文の「自分の仕事としてバイオリンを弾いている。」を下の英文では「プロ【職業上】のバイオリニストだ。」と読み替えて、空欄に入る語を判断します。5は、上の英文の「けっしてカサを持たずに外出しない」を下の英文では、「いつもカサを持って外出する」と読み替えて、空欄に入る語を考えます。

4 書き換え問題

現在進行形の文や下線部を問う疑問詞から始まる疑問文の作り方を確かめる問題です。3は studied から過去形の疑問文にします。Did で始めて、動詞は原形の study にします。4は日付をたずねる疑問文ですが、What is the date～?の他に、What day of the month is it～?という表現も覚えておきましょう。5はやや難問で、下線部が頻度を表す three times a year 「1年に3回」なので、頻度をたずねる How often 「どのくらいの頻度 [回数] 」で始まる疑問文になります。

5 整序英作文問題

1は頻度を表す副詞 usually の位置、2は Let's で始めて、「～しましょう」と勧誘を表す文の語順がポイントになります。3は make a mistake 「間違をする」の知識が必要ですが、「まったくミスをしなかった」という日本語から、made no mistakes とします。4は高さをたずねる How high で始まる現在進行形の疑問文になります。5は <Who + 動詞の過去形> 「だれが～しましたか」の疑問文ですが、それに対する答え方は I did. 「私がしました。」のように、<主語 + did.> となることも押さえておきましょう。

6 誤文訂正問題

英文の誤りを見つけて訂正する問題は、正しい文法と語いの知識が必要です。2は「(建物が)立っている」という場合は進行形を使いません。3は「(カップ) 3杯のお茶」という場合は、cup を複数形にします。5はやや難問で、「遅く」という意味の副詞は late で、lately は「最近」という意味の副詞なので、本問では誤りになります。

7 語い問題

1は4文字なので、複数形の eggs 「卵」にします。2は clock 「置時計」が答えになりますが、文中の tell は「わかる、～だと知る」という意味になります。4の kitchen 「台所」、5の November 「11」は単語を知っていても、正しいスペルで書けるかどうかがポイントになります。

2025 第4回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【数学】

中1の「平面図形」までの範囲から幅広く出題しました。例年どおり、解法暗記だけでは対応できないような、見慣れない問題も多数出題しました。これらの問題はいずれも、状況を正しく把握したうえで、何が問われているか、関係をどのように数式で表現すればよいかを考える問題です。正しい計算処理のしかたに加え、状況を整理し理解したうえで数式や図を利用して考察する力を身につけましょう。

① 計算問題（数の計算、文字式の計算、1次方程式）

基本に忠実に計算を進めれば完答できる難易度の計算問題です。正しい手順が身についていなかったり焦っていたりすると、累乗する、かっこを外す、分母を払う、数値を式に代入する、といった処理のいずれもミスが生じやすいので、速く正確に計算を完遂できる盤石な力を身につけてください。

② 小問集合（比例式、比例と反比例、場合分け、文字式、ひし形の面積）

(2)のように変化するものは中2の「1次関数」で学びますが、あえて出題しました。「 $1 \leq x \leq 3$ での比例」と「 $3 \leq x \leq 6$ での反比例」を別々に考えましょう。(3)では、論理的思考力を要する問題を通じて複数の可能性を丁寧に吟味し、1つずつ条件をしぼることができるかを問いました。(4)は、平面図形を題材とした小問です。未知数どうしの関係を適切に立式したり、得られた式を整理したりする能力を問いました。

③ 文字式の利用（魔方陣）

魔方陣を題材とした文字式の計算についての問題です。(1)は中心のマスにあてはまる数を、各行・各列・各対角線の和を用いて表す問題です。具体的な数を用いるなどして状況を考察する力が重要です。また(2)として、(1)の結果に基づいて文字式で魔方陣をうめ、方程式に帰着する問題を出題しました。たとえば、オとエに書かれた数が等しいことを先に利用してオに書かれた数が $-x+3$ と表されるという方針や、最終的にイ・ウ・カに書かれた数が等しくなることを考察する方針など、他にも解法があります。魔方陣の性質について調べてみるのも面白いでしょう。

④ 文字式の利用（食塩水）

食塩水の濃度について、与えられた条件に基づいて方程式をつくり、それを解く問題を出題しました。条件を整理するために図を用いることも視野におく必要があります。具体的な事象を、数式を利用して解決する問題ですので、方程式の処理が適切におこなえたかだけではなく、状況を適切な式に帰着させられ

たかどうかもよく見直しておいてください。

5 比例・反比例のグラフ（三角形の数え上げ）

反比例のグラフ上の格子点を結んで、条件をみたす三角形がいくつ作れるかを数える問題です。与えられた条件から、格子点が曲線のどこにあるか、得られる三角形と点や直線がどのような位置関係にあるかを平面図形的に考える必要があります。反比例のグラフは、原点を中心に点対称であり、また、直線 $y=x$ に対して線対称である性質があることに注目するとよいでしょう。図をいくつか書き、条件に対する適不適を判断することが欠かせません。

6 平面図形（文字式の利用）

おうぎ形が円の内側をすべらず転がるときの中心の軌跡を考える問題で、(2)・(3)は非常に高難易度になっています。端点を中心とする回転と、円弧の内側でおうぎ形が接したままの回転が交互におこなわれます。また、文字定数で与えられた中心角をもとに、角度や長さを計算する必要があり、正確な処理能力が問われます。

2025 第4回駿台学力テスト 中1 出題のねらい 【国語】

一年生の総仕上げとなるよう、読解を中心に、言葉の知識や表現の特徴など、幅広く力を問う設問を入れています。どれだけ国語の力がついているか、これからの課題は何かを知る資料として使ってほしいと思います。

□ 漢字の読み書き

読み書きとともに、基本的なものを出題しています。(5)「台頭」・(6)「陳腐」は言葉としてやや難しかったかもしれません、これを機に意味もしっかり覚えておきましょう。言葉の知識は急には身につかないので、普段から知らない言葉に出会ったら、調べることを心掛けてください。

■ 論説文の読解……… 古藤日子『ぼっちのアリは死ぬ』

コロニーから離したアリの研究を紹介した文章です。具体的な実験が出てくる文章は、実験の内容と結果、それについての考察を整理してとらえるようにしましょう。今回は、それに加えて、孤立アリとグループアリそれぞれの内容をきちんと区別して読む必要があります。そのような整理ができれば、理解しやすい文章です。**問六**の記述は、「具体的に」・「漢数字で」という条件を忘れないように気をつけましょう。

■ 隨筆文の読解……… 栗沢まり『あの子のことは、なにも知らない』

卒業を間近にした中学3年生たちの物語です。本文は、卒祝の実行委員長である秋山美咲の視点で描かれた文章から出題しました。渡辺和也という一人の生徒について、哲太・芳佳・前田という3人の人物とのやり取りが描かれているので、それぞれの人物の考え方と、彼らとのやり取りのなかで美咲の考えがどのように変化していくのかを丁寧に読みとりましょう。**問七・問九**など設問もそのような部分を中心に設定しています。また、小説は、登場人物たちの心情、そしてその変化をたどって読んでいくことが読解の中心となります、それらを伝える表現の特徴に注目して読むことも大切なことです。

■ 兼好法師『徒然草』第二百七段

一年生にとっては最初の古文のテスト問題です。入試に頻出の鎌倉時代の隨筆集から、太政大臣である藤原（徳大寺）実基の人物像を伝えるエピソードを選びました。まずは、龜山殿を建てようとしたときに起こった状況を、最初の1文から正しくとらえること。次に、そのような状況に対して、「皆人」と「この

大臣(実基)」がそれぞれの主張をした、という文章の構造をとらえることができたかがポイントです。このように具体的なエピソードから人物像を描き出す話はよく出てきます。その事実がどのような性格と結びつくのか、本文の記述にきちんと根拠を求めて判断するようにしていきましょう。